

藤沢市総合教育会議 議事録

会議名	平成 28 年度第 2 回 総合教育会議
開催日	2016 年（平成 28 年）6 月 22 日（水）18:30～19:20
場 所	森谷産業旭ビル4階 第1会議室
出席者	（市側）鈴木市長 （教育委員会）小竹委員長、井上委員、中林委員、吉田委員 （関係職員）教育次長、教育部長、教育総務課長

【議事録】

事務局（司会）

- ・ 定刻になりましたので、ただいまから第2回総合教育会議を始めたいと思います。
- ・ 会議の前の確認ですが、本日、傍聴者の中で録音、写真を撮られる方はいらっしゃいますか。（なし）
- ・ それでは、事務局の方では会議の記録のために録音と写真を撮らせていただきますが、もちろん傍聴者の顔は映らないようにいたしますので、ご了解いただきたいと思います。
- ・ それでは、開会にあたり、総合教育会議座長である鈴木市長からごあいさつをお願いします。

鈴木市長

- ・ 皆さん、こんばんは。遅い時間にもかかわらずご出席いただき、誠にありがとうございます。平成 28 年度第 2 回目の総合教育会議となりますが、よろしくお願いいたします。
- ・ 梅雨ということで、これから明日にかけて大雨の可能性があるということなので、十分気をつけていただきたいと思います。

- ・市の方では、6月市議会定例会が24日まで行われることになっており、今、一般質問等を受けているところですが、6月議会は2月に市長選挙があったため、肉づけ予算ということで政策的な補正予算等が多く、教育費で言うと、主なものとして、児童支援体制の充実を図るための児童支援担当教諭の配置に伴う予算等が組まれているところですが、そういった状況で市政が運営されております。
- ・また、今年はリオのオリンピック開催にあたり、藤沢ゆかりの選手は、今のところ7名が参加をすると聞いておりますので、ぜひ頑張ってください、市民の皆さん、青少年の皆さんに元気を与えていただければと思っています。
- ・また、その次の2020年の東京オリンピックでは、江の島がセーリング会場にあたっておりまして、2回目のオリンピックの開催会場市として市民にとってもレガシーをつくって、それを共有しながら、これからの藤沢市政の運営に元気をつけていこうと考えております。
- ・先月27日にコーツIOC副会長が江の島のヨット会場を見まして、大変素晴らしい会場であると喜んでおられました、だんだん具体化が見えてきつつあると感じているところです。
- ・さらに青少年たちがオリンピックを契機に、感動を共有する機会が多くなってまいりと思っております。
- ・また、5月から6月にかけては体育祭や修学旅行等がありますが、元気な子どもたちの成長を楽しみにしているところです。藤沢の将来を担う子どもたちの成長を我々もバックアップできればと思っております。
- ・今日は、先日の会議で教育大綱が策定され、今後、どのように進めていくかということで議題をお示ししておりますので、よろしくお願いいたします。

事務局（司会）

- ・ありがとうございました。それでは、本日の資料の確認をいたします。（資料確認）
- ・これからの議事進行は鈴木市長にお願いいたします。

鈴木市長

- ・次第3 議事録署名人の決定について、事務局から指名してください。

事務局

- ・今回は鈴木市長と吉田委員にお願いしたいと思います。

鈴木市長

- ・署名人には私と吉田委員ということですが、いかがでしょうか。（「異議なし」の声あり）

鈴木市長

- ・それでは、議事に入ります。（１）教育大綱の理念を広げていく取組について、事務局の説明を求めます。

事務局

- ・（資料１参照）「１大綱の周知」ですが、（１）では、第１回総合教育会議以降の周知活動について、（２）では、今後の周知活動の予定を記載しておりまして、校長会を通じて教職員への周知をしていくとともに、各種講演会や会議などの機会に教職員、保護者、一般市民等各方面に周知をしていきたいと考えております。
- ・（資料２参照）「２具体的な取組」として、（１）は、市で策定しているさまざまな分野の計画との関連については、「ふじさわ教育大綱」の下に、関わりのある主な個別計画を教育委員会、生涯学習部、子ども青少年部、保健医療部、福祉部ほかといった組織ごとの区分で記載いたしました。
- ・教育大綱については、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」で、「教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定める」とありますので、学校教育、生涯学習、子育て支援などの既存の個別計画との関係で言えば、これらの上位に位置するものとなっております。
- ・こうした環境をご確認いただいた上で、大綱の具体的な取組を考えた場合、まずは既存の個別計画を大綱の理念を踏まえて着実に実施していくことが第一であると考えます。
- ・本市の教育大綱の構成は「学びの環・人の和・元気の輪」という３つの「わ」を基本方針としており、他市町のように大綱の中に、より具体的な施策の方向性や重点方針といったものを位置づけておりません。
- ・したがって、基本方針の３つの「わ」を実現していくためには既存の各分野の計画を着実に実施していくこと、その際、事業実施にあたっては、「学びの環・人の和・元気の輪」

を広げていくという理念を踏まえて取り組んでいくことが大切であると考えます。

- ・こうしたことから当面は、既存事業に大綱の理念を反映させていただくこと、そして今後、各計画が改定の時期を迎えたときには大綱の考え方を改定後の計画に盛り込んでいただきたいと思いますと考えております。
- ・資料3, 4, 5は、参考までに「教育振興基本計画」体系図、「生涯学習ふじさわプラン2016」体系図、「子ども・子育て支援事業計画」体系図をつけております。
- ・資料3の「教育振興基本計画」では99の事業があります。資料4の「生涯学習ふじさわプラン2016」では、140の事業が位置づけられております。資料5の「子ども・子育て支援事業計画」は、一部重複がありますが、155事業が位置づけられております。
- ・こうした各計画を実行していく上で、今まで以上に市と教育委員会と一体となって、各計画の連携を図りながら、学校教育、生涯学習、子育て支援などの充実を図っていくことが、大綱の理念を実現する具体的な取組になると考えます。
- ・資料1にお戻りいただいて、(2) 学びの環・人の和・元気の輪を広げる取組については、ただ今既存の取組を継続していくことが重要であるとの説明をいたしましたが、新たな事業にも今後、取り組んでいくことになると思います。
- ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、今後、教育プログラム・文化芸術プログラムについて、担当課である東京オリンピック・パラリンピック開催準備室が中心となって、事業の検討を進めていくこととなりますが、このあたりは教育大綱の理念を取り入れた事業ができるのではないかと考えられます。
- ・具体的にはこれから少し時間が必要かと思いますが、新規の取組として「学びの環・人の和・元気の輪」を広げるという理念を反映させていきたいと考えております。説明は以上です。

鈴木市長

- ・事務局の説明が終わりました。これから協議をしたいと思っております。
- ・まず資料1の「1 大綱の周知」では、(1)(2)を一括りとして議論をいただきたいと思っております。また、「2 具体的な取組」では、(1)(2)とありますが、それぞれ議論をいただきたいと思っております。また、教育プログラム、文化芸術プログラムの反映について

は、別に議論をいただくという3段階で行っていきたいと思います。

- ・まず、一つ目の「大綱の周知」について、ご意見をいただきたいと思います。

吉田委員

- ・(2)の「今後の周知活動について」です。今までに(1)で、市議会、ホームページへの掲載等々市民の皆さんにもお伝えいただいているのですが、市長がおっしゃっている「マルチパートナーシップに基づき」ということを考えると、財界、それから藤沢市にあるようなインフラ整備等の会社とか私立の学校とか郵便局といったさまざま教育に関係ありそうな、あるいはご支援をいただけそうなところにもたくさん発信をした方がいいのかなと考えます。
- ・講演会、会議というのもありますけれども、そういった、人が集まる場所でもどんどん発信していただいて、ご支援が得られるような形を取っていただけると、子どもたちのためにもなると思いますので、ぜひよろしくお願いいたします。

鈴木市長

- ・周知については、できるだけさまざまな会議において周知をしていきたいと思っております。

吉田委員

- ・もう1カ所は、文化関係の連合体で、たくさん子どもたちにいろいろな機会を与えてくださっているので、ぜひ、文化団体連合会にも伝えていただきたいと思います。

鈴木市長

- ・今後の周知ということでは、どちらかというと、教育関係のことが書いてありますが、その他、市の公的な行事で周知をした方がよろしいものについては、具体的にどういうものがあるかは別にして、行っていければと思っております。
- ・次に、「2具体的な取組」では、事務局の説明では大綱でお示した理念を個別計画に落とし込んでいくということですが、改定の際に反映していただければと思っておりますが、このことについてご意見をいただきたいと思います。

小竹委員

- ・事務局のご説明のとおり、今のところ、既存の計画を主に実施していただく、それを改

定時に反映していただいて、この大綱を継続するような計画を取っていただくことが、現在の目標だと思っております。

- ・それから、周知活動に絡むのですが、藤沢にはたくさんのスポーツクラブがあります。セーリングをやっている小さいお子さんからテニスとかバスケット、水泳等さまざまなクラブがございます。
- ・また、教育の方とは違った、個人参加のところにも大綱のことを広く知っていただける一つのチャンスになるのではないかと思います。

鈴木市長

- ・スポーツ団体とかスポーツ少年団というところにも相談しながら、そういう意識を理念に入れていただければ、さらに良くなっていくのではないかと考えていますので、努力をしていきたいと思っております。

吉田委員

- ・既存の実施計画を個々に積み上げていくということは大切なことだと思うのですが、既存の計画より後にこの大綱ができた関係で、既存の計画と大綱はどこでどんなふうに結びついているのかというあたりは、事務局としてはどういうふうに整理をしようと思っているのかお聞かせください。

事務局

- ・確かに既存の計画の方が先にあって、大綱が後からできたわけですが、この大綱の理念が「学びの環・人の和・元気の輪」ということで、あまり具体的なものを特定していないものであるからこそ、いろいろな方面に応用が効くといえますか、良い方向にとらえていけるものであると考えておりますので、既存の計画を進める上で、なかなかマッチしないというふうには事務局側としてはとらえておりません。
- ・既存の計画を進める上で、より学びの環を広げる、人の和を広げる、元気の輪を広げるような、もともと既存の計画にも学びの環の要素であったり、人の和の要素であったり、元気の輪の要素が各所に散りばめられているので、そこはうまく融合してやっていけるものと考えております。

吉田委員

- ・この質問をしたのはなぜかという、既存の計画とマッチングをする大綱の中で、確か前にも「学びの環・人の和・元気の輪」というのは、具体的にものが見えてこないというご指摘がパブリックコメントにもあったような気がして、それぞれこれが学びの環、これが人の和、これが元気の輪につながるということを明確にしていっての方がいいのではないかということをお願いしたいと思います。
- ・これをやっていくときに少し意識するのであれば、既存の計画の中に、こういったことを意識してやっていますということの発信をしていった方が良いのかなと思ったので、どのようにつないでいくのかをお伺いしたわけです。
- ・私自身は既存の計画をきちんとやっていくことが、もともと大きな枠でつくった三つの「わ」につながっていくと考えておりますし、一つずつ丁寧に対応していくことが大切であると思っていますので、既存の計画を改定する前の今のことややっていくときに、少しでもこの三つの「わ」のことに触れていけるような場面があれば、それにつながっていただけたら良いと思います。

事務局

- ・もう少し詳しい部分のお話をさせていただきますと、資料6に「ふじさわ教育大綱」を載せておりますが、ご指摘のあった基本的な方針として三つございます。
- ・そして資料3の「藤沢市教育振興基本計画の体系図」では、これから話をさせていただく中で調整が必要ですので、あくまでも本日の段階で、例えばという形でお話をさせていただきたいのですが、資料6の教育大綱の基本的な方針の1は、「いつでもどこでも誰でも学ぶことができ、」ということで、資料3の教育振興基本計画の4の「多様な学びのできる生涯学習社会を目指します」というところに結びつけて、理念の反映ができればと現段階では思っています。
- ・同じように、基本的な方針の2つ目は、マルチパートナーシップと地域社会ですから、これは資料3の教育振興基本計画の体系図によれば、2の「家庭教育・幼児教育・地域教育力の支援、充実を図ります」といったところで、地域における教育力の向上、あるいはその他でも地域に関する部分があれば、そういうところと少しリンクをさせて理念が広げられればと思います。

- ・そして三つ目の「心身の体力を育み、豊かな心で元気の輪を広げていく」という基本的な方針については、教育振興基本計画の6の「健康で豊かなスポーツライフの環境整備を行います」で、一つひとつ、良い意味での紐づけができていければ理念がより伝わりやすいのではないかと、現段階では考えております。
- ・今後、関係部局との調整が必要ですので、今日のところは、そういう方向でやっていければと考えております。

鈴木市長

- ・市政運営の総合指針でも「人の和うるわし湘南の元気都市」と言っており、目指す姿ということもあります。
- ・また、「学びの環・人の和・元気の輪」を基調とした視点から、個別計画を見直して、極力わかりやすくしていただくことを事務局にはお願いします。

井上委員

- ・藤沢市の教育振興基本計画の中に、基本理念と3つの目標の中の1つに、「藤沢っ子」を育成するというのがあります。
- ・これは相手を思いやる気持ちとか、豊かな感性を持つ子どもたちを育成することと理解しております。
- ・要するに藤沢らしさとは一体何かといったときに、ここにかかってくるような気がします。
- ・それは多様性を認めることとか、協働とか共生するというような姿勢を養うというところにもつながるだろうと考えると、教育振興基本計画の4番目の「多様な学びのできる生涯学習社会を目指します」というところにもつながってくるのではないかと考えます。
- ・それから「マルチパートナーシップ」については、2番目の家庭教育というところになるかと思うのですが、こちらについては道徳とか心のケアといったところにもつながる非常に重要なところだと感じます。
- ・それから3番目は「健康で豊かなスポーツライフ」ということですので、体育ということですから、1番の学力、2番の徳力、3番の体力というところで、教育大綱の基本的な方針がカバーできていると思っています。

- ・そういう基本的なものを変えることはよろしくないと思いますので、教育の一貫性というのを貫いていただきながら、時代の変化に対応して、施策を柔軟に見直すことも検討しなければならないかと考えております。
- ・以上、事務局の説明があった部分に対して若干コメントをさせていただきました。

鈴木市長

- ・「藤沢っ子」は、大綱の前文を尊重しながら、つなげていきたいという思いもありますので、よろしくお願いいたします。

中林委員

- ・どんな形でも紐づけというか、つながりがつくれるような大綱をつくっていただいておりますので、教育振興基本計画の中のそれぞれの柱につけていただけるように、説明する段階で大綱のこの部分はここにつながっているというような部分があれば、そういう形で大綱ができ上がってきているのではないかと考えています。
- ・それから周知についてですけれども、藤沢市立学校にはPTAの組織があると思うので、その方から保護者向けのアナウンスをしていただくとか、幼稚園を含めた子どもたちにわかりやすく説明できるようなパンフレットのようなものをつくって、配るだけではなく、先生方が理解して一緒に子どもたちに説明して、子どもがそれを家に持って帰って、子どもから親に教えるような状況があってもいいのではないかと考えています。
- ・また、親の方からも「こんなものがあるよ」と、子どもに話ができるような簡単なものがあるといいと思いますので、お願いしたいと思います。

鈴木市長

- ・その点は事務局、よろしくお願いいたします。また、個別計画はそれぞれ分離したものではなく、「学びの環・人の和・元気の輪」が連携するような形で、うまく機能するようにつくっていただければと考えております。
- ・そういうことでよろしいですか。他になければ、次の議題に移りたいと思います。
- ・(2)の「学びの環・人の和・元気の輪を広げる取組」ということですが、東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた教育プログラム、文化芸術プログラムを作成していければと考えておりますし、特に会場市として2回経験することになりますので、

リーダーシップを取って進めていくことができばと思っているところです。

- ・この辺についてご意見を伺っていきたいと思っておりますが、これについては、これから詰めていくような話なので、今日のところは、こんなものをして良いのではないかなというような提案をいただいて、具体化をしていきたいと思っております。

小竹委員

- ・東京 2020 オリンピックのセーリング競技が藤沢で行われることは大変喜ばしいことと思います。そしてその場所に参加できる子どもたちに大きな夢を与えられるし、自分を育む力、目指す目標と、スポーツだけでなくいろいろな形で、皆さんの元気の活力の起爆剤になるのではないかと思います。
- ・具体的にはオリンピック競技の練習場であるところから、本物の選手に出会うとか、競技を見ることとか、いろいろなチャンスに恵まれることが多くなると思いますので、そういう機会を子どもたちに見せられればと思います。

井上委員

- ・今、これと言った具体的な取組はないのですが、先ほど事務局から事業を行う際に理念を取り入れていきたいという話があったので、何か考えがあれば、少しお聞かせいただきたいと思えます。

鈴木市長

- ・事務局としてそこまで固まっていますか。

事務局

- ・今、固まっているのは担当のオリンピック開催準備室がありますけれども、まだ具体化しておりません。
- ・本日、取り上げましたのは、オリンピックというと、スポーツの祭典と考える方が多いと思いますが、間もなくリオのオリンピックが始まりますけれども、ロンドンオリンピックの状況を調べたところ、文化芸術プログラムへの参加者が数千万人と非常に多かったです。
- ・これは何かをゼロから立ち上げたということではなくて、スポーツの祭典とあわせて既存のいろいろな文化・芸術のプログラムと一緒に盛り上げていこうという趣旨で実施さ

れたと聞いております。

- ・これに関わった方は、ボランティアとか選手、それを支えるチームなど、いろいろな形でスポーツ系に関わった方とほぼ同じぐらいと聞いておりますが、そういったことが東京都ではかなり具体的に進んでいるようですが、藤沢市でも近隣の市町村と連携した取組ができればと考えておりますので、具体化しましたら、もう少し細かいお話をさせていただきたいと思っております。

井上委員

- ・せっかくの機会ですので、子どもたちも参加できるようなプログラムを通じて、教育大綱に関連したようなことが打ち出せれば、なおよろしいかと思っております。

中林委員

- ・東京オリンピックにはまだ4年ありますけれども、私は最初のオリンピックは経験しておりませんが、多分、最初で最後のオリンピックを自分の住んでいるまちで経験できることは、すごくうれしいし、今の子どもたちは本当に幸せだと思います。
- ・先ほど事務局からもありましたが、ボランティアというのは必要だし、大事なところになってくると思います。
- ・そこでいろいろな学びがあったり、人の和をつくったり、そして元気に運営に参加していただければ、この3つの「わ」が入ってくると思います。
- ・ボランティアだけではないと思いますけれども、そこにポリシーを置いて、オリンピックの開催が成功するような形を考えていけたら良いと思います。

吉田委員

- ・教育プログラムと言われると、つい本職であったころのことを思い浮かべて、あれもやりたい、これもやりたいと思うところがたくさんあります。
- ・まず、子どもたち自身がオリンピック・パラリンピックを機会にして、何ができるのかを考えてもらいたいというのが私の一番の願いです。
- ・ややもすると、アスリートだけに目が行ってしまって、自分もオリンピックに出られるような選手になりたいという大きな夢を描くことも一つですけれども、オリンピックは見る方もいるし、支える方もいて成り立つものだと思いますので、自分は何ができるの

かという視野に立って、アスリートになる子もいるでしょうし、ボランティア活動をする子、ボランティア活動も環境整備をする子もいるでしょうし、外国語を学んでいるいろいろな外国から来る方々の対応をしたいという子もいるでしょうし、それから道案内をするとか、いろいろな標識をつくるとか、それぞれの旗をつくって歓迎するとか、いろいろなやり方があると思いますが、子どもたち自らが進んで取り組めるような機会にしたいと思います。

- ・それから文化芸術の関係と重ねていくのであれば、アートスペースができ、藤沢宿ができ、今度、浮世絵館もできますので、文化圏と絡めての何かができたらいいかなと思っていますので、幅広い意味で考えていただきたいというのが願いです。

鈴木市長

- ・これについては我々だけでなく、大会というところ、そこに直接関わる人はごく一握りかもしれないですが、市民共有の意識を持っていくことが大事なので、我々が決めても、ついてきてくれないとできないので、いろいろな角度からお話をしながら、持っていきやすいようにしたいと思っています。
- ・この中でオリンピックを経験したのは私だけかもしれませんが、来たときは世界の国々の国旗とかでどういう国なのか興味がありました。
- ・また、藤沢市民は会場があることで盛り上がったわけです。そのときはまだボランティアとか市民組織ということが一般的ではありませんでしたが、何かをしなければいけないということで海岸清掃をしたり、今で言う「おもてなし」を地元の方がしたり、いろいろなことで意識が高揚していったという思い出があります。
- ・そして前回のオリンピックとちょっと違うのは、パラリンピックが行われるわけです。
- ・パラリンピックの日本の会長さんは藤沢とゆかりのある方ですが、この前お見えになりまして、パラリンピックの成功なくしてオリンピックの成功はないということをおっしゃられました。
- ・ロンドンオリンピックが成功したのは、パラリンピックを見る方、支える方が一生懸命やってパラリンピックを支えてくれたということもありましたので、そこをもう一つ大事にしていきたいと思っています。

- ・また、教育プログラム、文化芸術プログラムですが、具体的な教育プログラムでは子どもの体力の向上を考えていくことも一つかもしれませんし、藤沢にあるもので文化芸術をみんなで考えてつくっていきけるようなきっかけも大事なこととっております。
- ・また、外国の方もかなり来るとお思いますので、そういった方に手づくりの文化なり芸術を見てくれる方もいらっしゃると思いますので、そういったことを皆さんで考えていければとっております。
- ・これから具体的な話し合いや、いろいろな角度から話し合いながらつくっていかればと思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。
- ・スケジュール的に何か事務局として考えているところはありますか。

事務局

- ・その辺については担当のオリンピック開催準備室と協議をして、できるだけ進み具合に合わせて、ご報告をさせていただきたいと思っておりますが、今のところ、そのスケジュール面は定かではありません。

鈴木市長

- ・この件については、今日の段階でいきなりこの議題が出てきたので、皆さんでいろいろ考え、それを持ち寄っていただくというようなことをこれからもやっていきたいと思っております。
- ・今日は頭出しということで、教育プログラム、文化芸術プログラムを行っていきたいということの確認をさせていただきます。

鈴木市長

- ・次に（２）第３回総合教育会議のテーマについて、事務局からお願いします。

事務局

- ・テーマとしては２点ございます。一つは、昨年この時期にも取り扱いました、「来年度予算に対する要望について」ということを取り上げてはどうかと考えております。
- ・もう一つは、今、いろいろご議論いただきましたオリンピック・パラリンピック競技大会における「教育プログラム、文化芸術プログラム」について、担当課の職員に関係職員として出席していただいて、現時点では、まだ具体的なものはできていないと聞いて

おりますけれども、実際に職員からプログラムの一般的な説明とか過去の事例などを説明してもらって、藤沢の具体的な展望についてご協議いただいてはどうかと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

鈴木市長

- ・今、第3回総合教育会議の議題についてお話がありました。次年度の予算の件、オリンピック・パラリンピックのプログラムの件ということでよろしいですか。

(「異議なし」の声あり)

鈴木市長

- ・それでは、そのようにさせていただきます。

鈴木市長

- ・次に(3) その他ですが、事務局から何かありますか。

事務局

- ・特にありません。

鈴木市長

- ・委員から何かあります。(なし)

事務局


- ・次回は7月27日(水)午後1時から、場所は森谷産業旭ビル4階第1会議室となります。議題は先ほどの二つのテーマに沿って進めていきたいと思っております。
- ・以上で、第2回総合教育会議を終了いたします。

(午後7時20分 閉会)

2016年(平成28年) 7月 27日

この会議の経過を記載し相違ないことを確認する。

藤 沢 市 長

鈴木 暉夫 

藤沢市教育委員会委員

吉田 早苗 